見てみよう！歴史災害記録と旬のあいち

December 2021 vol.92

December

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

◆ 半田地震探索まちあるきルート

昭和 19（1944）年の昭和東南海地震から、今年で 77 年になります。半田市には、昭和東南海地震にまつわる慰霊碑が数多く残され、誌面でもたびたび取り上げて来ました。今回は、これらを巡るまちあるきルートを紹介します。

スタートは**半田市役所**（地図①）です。名鉄知多半田駅からは東へ約 1.5km、路線バスも運行しています。半田市役所の場所は、昭和東南海地震で多数の犠牲者を出した中島飛行機山方工場があった場所で、敷地内には「東南海地震被災の地」の碑があります。平成 26 年の新庁舎建設後は、庁舎西側の半田の歴史を学ぶ小径に設置されています。

半田市役所の碑

次は、文化元（1804）年創業のミツカンの歴史や技術を学ぶ博物館・**ミツカンミュージアム**（地図②）です。江戸時代の酢づくりや現在の醸造の様子が見られる「大地の蔵」、懐かしい写真と音の演出で半田の情景を感じられる「風の回廊」など、5 つのゾーンで構成され、醸造のまち半田の歴史に触れることができます。

ミツカンミュージアム

続いて、**小栗家住宅**（地図③）です。小栗家住宅は、醸造業などを営んでいた半田の豪商・小栗家の店舗兼住宅で、明治時代初期に建築された建物です。平成 16 年 3 月には主屋始め 8 件が国の登録有形文化財として登録されています。

小栗家住宅

小栗家住宅のすぐ北には、海運業や醸造業で財を成した半田の富豪・10 代目中埜半六が明治 22（1889）年に建設した本宅・**中埜半六邸**（地図④）があります。明治 22 年は半田で第 1 回陸海軍大演習が行われる前の年であり、内部には天皇を迎えるためのしつらえも見られます。現在は、3,000 ㎡余りの敷地を半田市が「半六庭園」として整備し、市民の憩いの場・半田市を訪れる方々のおもてなしの場となっています。

半六庭園

半六庭園の北は、先人たちの技などの貴重な文化遺産の伝承などを目的としたお酒の博物館・**國盛（くにざかり） 酒の文化館**（地図⑤）です。200 年にわたり酒造りが行われた酒蔵をそのまま活かした建物で、館内では、お酒についての知識が学べるほか、利き酒もできます。

國盛 酒の文化館

続いて、**旧中埜家住宅**（地図⑥）です。こちらは中埜半六家の別邸で、明治 44（1911）年建築の洋館は国の重要文化財に指定されています。

旧中埜家住宅

小栗家住宅から旧中埜家住宅までは、いずれも昭和東南海地震以前の建物で、地震の揺れを耐え抜いています。

ここからはまた、西に向かいます。名鉄河和線の踏切を渡り、国道 247 号線を越えると、登り坂になります。10 分ほどで登り切ると、**雁宿（かりやど）公園**（地図⑦）です。雁宿公園には、昭和東南海地震で亡くなった半田の生徒たちを慰霊するため、昭和 25 年の七回忌に同級生が建立した「追憶之碑」、昭和東南海地震で亡くなった中島飛行機半田製作所の

追憶之碑

◆ 災害にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、災害が実際にこの地域で起こるということを実感していただくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。

動員学徒 96 名と山二航空成岩工場で亡くなった 1 名を追悼した「殉難学徒之碑」、昭和東南海地震の犠牲者、昭和 20 年 7 月の空襲による犠牲者ら、432 名以上を追悼した「半田・戦災犠牲者追悼平和祈念碑」があります。雁宿公園は、明治 23 年に衣浦湾で行われた第 1 回陸海軍連合大演習の折に、明治天皇が大演習を統監した場所で、「明治天皇駐蹕碑」もあります。

殉難学徒之碑

平和祈念碑

雁宿公園からは、北側の遊歩道を抜けて**北谷墓地**（地図⑧）へ向かいます。ここは 1km ほどの散歩です。北谷墓地には、中島飛行機の後継会社である輸送機工業が昭和東南海地震の犠牲者の慰霊のために建立した「殉職者諸精霊之碑」があります。中島飛行機は、戦争中の昭和 20 年 4 月に国有化されますが、国有化される前に、昭和東南海地震の犠牲者を慰霊する木造の「震災殉難者之塔」を建立し、これを後継の愛知富士産業、輸送機工業が引き継ぎ、現在は、石製の殉職者諸精霊之碑として受け継がれています。

殉職者諸精霊之碑

災害にまつわる碑や史跡を巡るまちあるきはここまでです。帰りのルートはいくつかあります。半田口の駅を目指すなら、さらに北へ進むと**新美南吉記念館**（地図⑨）があります。その先の**矢勝川**では、9 月頃には一面満開の彼岸花を楽しむことができます。東に向かい、住吉町駅を目指せば、**半田赤レンガ建物**（地図⑩）で、パリ万博に出品された幻のカブトビールが味わえます。北谷墓地からは、県道 467 号に出て、路線バスで名鉄知多半田駅に戻ることもできます。なお、今回紹介したルートは土地の低いところから高いところへ登るルートですが、知多半田駅から北谷墓地付近へ路線バスに乗り、北谷墓地から出発すれば、下りのルートになり、土地の高低を感じやすくなります。

新美南吉記念館

矢勝川の彼岸花

半田赤レンガ建物

昭和東南海地震の慰霊碑を巡り、亡くなった方への慰霊の気持ちとともに、地震への備えに思いを巡らせていただきながら、歴史ある半田のまちあるきを楽しんでください。

★はんだ蔵のまちどぶろくまつり

どぶろくは、醪と酒、酒粕に分ける作業を行わない、白く濁った酒です。生のどぶろくは火入れする前の状態のため、酵母や酵素が生きていて、発酵による炭酸ガスの刺激が心地よく舌を刺激します。

醸造のまち半田のどぶろくまつりは、12 月の第一土曜に、国盛 酒の文化館を中心に開催されます（2021 年は 12 月 4 日）。知多半島産米を使用した、普段飲むことのできない殺菌前の“生のどぶろく”有料試飲を始め、はんだの SUSHI ブース・はんだの SAKE ブースなど、どぶろくを楽しむ様々な催しが行われます。周辺のお店には、当日限定メニューも登場し、醸造のまち半田でおいしく、楽しく、まちめぐりをお楽しみいただくことができます。

Aichi Now HP より

あいちの農産物

みかんはカロチンとビタミン C を非常に多く含み、3 個食べれば一日のビタミン C 必要量を摂取できます。

愛知県園芸農産課 HP より

一般にみかんと呼ばれるものは「温州みかん」のことで、原産は日本ですが、中国のみかんの名産地である温州の名が付けられたと考えられています。愛知県には、初夏から秋に販売されるハウス栽培のみかんと、露地栽培で 11 月から販売される「宮川早生」や、1 月から販売される「青島温州」があります。

●ブレイクタイム●

♪醸造文化を辿る半田のたび

半田では、江戸時代に酒や酢、醤油などの醸造文化が花開きました。まちあるきルート付近には、半田赤レンガ建物や、国盛 酒の文化館、ミツカンの歴史に触れ、楽しみ学べる体験型博物館「MIZKAN MUSEUM」など、半田の醸造文化に触れることができる施設が数多くあります。

Aichi Now のホームページでは、オススメコースとして「醸造文化を辿る半田のたび」が紹介されていますので、参考にしてください。（https://www.aichi-now.jp/courses/detail/4/）

Aichi Now HP より

◆ この地域の災害に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、gensaisan2014@gmail.com まで情報をお寄せください。

◆ 県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』（http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html）をぜひご覧ください。

（発行：減斎の会・名古屋大学減災連携研究センター　2021 年 12 月）